

# Tuuli

トウリ 2018年8月15日発行

## 至誠学舎立川合同バザーのお知らせ

今年もまた至誠ホームのバザーの準備が始まっています。今年も昨年同様、法人の児童、保育、高齢の3事業本部合同で行います。高齢者福祉事業充実のためにご協力いただくことと、他の事業についてもボランティアや地域の皆様に知っていただけるよう3事業本部が連携し地域の方々と交流をすることを目的とします。

- ◆場所：至誠ホーム けやき広場 他
- ◆日付：10月13日(土)
- ◆時間：10:00～14:00
- ◆物品寄贈ご協力のお願い：
  - 新品（衣類・タオル・シーツ 等）
  - 雑貨類
  - 石鹼・洗剤



例年同様、地域の皆様方にもお楽しみいただける行事にしたいと計画中です。

なおバザーのご寄贈品は毎日受け付けておりますので、お届けいただければ幸いです。

- ◆寄贈品の受付期間：10月8日(月)まで
- ◆なお、事前の値付け作業日は10月10日(水)、11日(木)を予定しています。皆様からご寄贈いただいた品物を仕訳をして値段を付ける仕事です。午前は10時から12時、午後は13時から16時です。ご都合の良い時間帯をお選びください。大勢の皆様にお手伝いいただきますようお願いいたします。
- ◆バザー当日の10月13日(土)は大勢のボランティアさんのお力が必要です。受付に申し込み用紙をご用意いたしますので、事前にお申し込みください。ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。



## 納涼大会のお礼



今年も、ボランティアさんや大学生、高校生の方々総勢64名の方々にお手伝い頂き、盛大に納涼大会が執り行われました。当日の東京は最高気温39、1度！夕方とはいえ、大変暑い中でのスタートとなりましたが、皆様汗だくになりながらも笑顔でお年寄りの付添い、会場整理、お遊びコーナー等の活動にご協力いただきました。

終盤になって雨が降り出しましたが、自分は濡れてもお年寄りは濡れないようにと、持っていたもので雨をしのいでくださったボランティアの皆様の心遣いに、感謝の言葉も見つかりません。最後のお楽しみ、花火の打ち上げが雨の影響でなくなってしまうかと心配しましたが、無事に打ち上げられ皆様に楽しんで頂くことができました。

事故なく楽しい一晩となりましたのも皆様方にお力を貸し頂いたお陰と心から感謝しております。受け入れ等のところでご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、皆様のご理解とご協力に感謝致します。ありがとうございました。

タイトルのTuuliとはフィンランド語で「風」を意味します。皆様のもとにさわやかな風をお届けしたいと願っています。



## ボランティアと私 ~Part2~



前号でもご紹介させて頂いた和光ホームで書道クラブのボランティアをして下さっている境田さんのご紹介Part2です。毎回活動に参加されている皆様と書の時間を楽しんで下さっている境田さん、今後とも宜しくお願ひ致します！

私のボランティア活動は、クラブのみなさんの優しい笑みと「こんにちは～！」の挨拶を交わすことから始まります。日頃自由の遊んでばかりいる私も、この日ばかりは、「書道の先生」となり朝から気も引き締まります。

そんな私も、活動の際、大事にしていることが2つほどあります。1つは、「比べないこと」そして2つめは、私の特技であるらしい「褒めること」。褒められて嫌な気分になる人は、まずいなうし、何より私自身気分がいいのです。

行きがかり上、「先生」ではありますが、私のスタンスは、「教える」というより皆さんの個性を大切にし、その上で、より良くなる方向へと少々ヒントを差し上げる程度です。どちらかと言えば、「みなさんと一緒に書を楽しむ」という感覚の方が近いかもしれません。かつては、自分のためにやっていた書が形を変え、今では自分以外の人たちと書の楽しみを分かちあっているなんて幸せなことです。

私にとって、ボランティアは特別なことではなく、自分以外の誰かとお互いの時間や経験をシェアできるだけでなく、何より自らが「喜び」で満たされるというおまけつきのなんともありがたい機会だと思っている次第です。

日頃活動を支えて下さっている職員の方々、そしていつもクラブに参加して下さる皆様に心より感謝申し上げます。今後ともどうぞお力添えして頂ければ幸いです。

### ボランティア講座修了のご報告

平成30年度ボランティア講座を7月におこないました。内容は、『姿勢を見直してみませんか』と『認知症サポーター養成講座』の2つのテーマでおこない、暑い中でしたが、多くの方々のご参加を頂き、『姿勢を見直してみませんか』は30名、『認知症サポーター養成講座』は27名の方々の参加を頂きました。

『認知症サポーター養成講座』では講師の方より、認知症についての基礎知識や具体的な対応方法についてのお話がありました。また講座の後半では、「今日の講座をうけて、自分たちの地域でなにができるか」というテーマでグループ毎に意見交換して頂きました。

「認知症の方々が安心して楽しい生活を送れるように支援していきたい」

「認知症についての理解が漠然としていたが、講義をうけ詳しく理解することができた」

「認知症の方に寄り添う、相手が何を言いたいのか、何をしたいのか、耳をかたむける姿勢をもちたい」等貴重なご意見を多く頂き、有意義な時間となりました。

『姿勢を見直してみませんか』の講座では、生活習慣からくる不自然な体の使い方や癖を見直し、合理的に体を動かせるようにする運動をおこないました。動きはシンプルで、立つ・歩く・座るといった単純な動きから構成されていたため、初めての方でも無理なく行えるものでした。

参加者の方々からは、「とても良かった、大変参考になり、身体が軽くなった」「日常でも早速取り入れていきたい」「また次回もやってもらいたい」と嬉しいお言葉を多く頂きました。今後も皆様の活動にお役にたてるもの、また地域の方々にホームに足を運んで頂くきっかけ作りとしても講座の開催を計画していきたいと思います。

